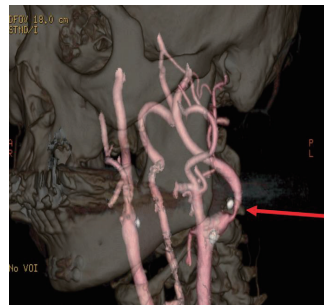




頸動脈狭窄症治療Update

脳梗塞は寝たきりの原因の第1位です。その脳梗塞の原因の2-3割は頸動脈狭窄症です(図1)。高齢化社会の進行と生活習慣の欧米化により発症数は増加傾向です。高血圧や糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病が誘因となって生じる動脈硬化性疾患です。

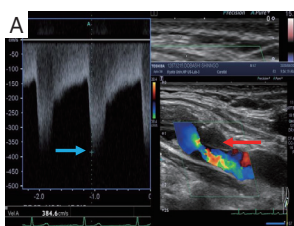
頸動脈分岐部に好発し、プラークの破綻や血栓形成によって動脈原性塞栓症や脳灌流圧の低下による虚血をきたします。中等度狭窄以上の患者数は本邦では200万人以上との報告もあります。



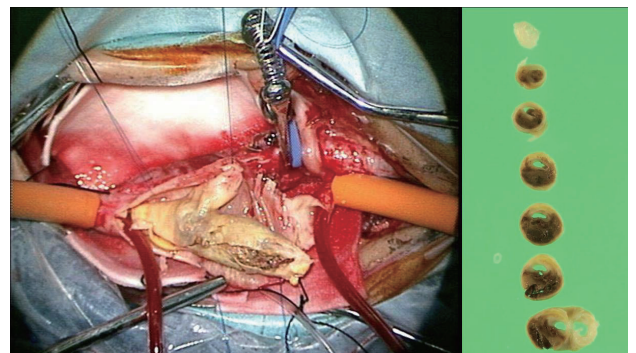
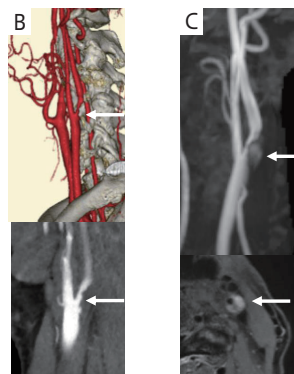
(図1)

頸動脈狭窄症の診断

頸動脈エコー、3DCT angiography、MR angiography等で行われます(図2)。頸動脈エコーで指摘を受け、当科をご紹介いただく患者さんが増えて参りました。



(図2)

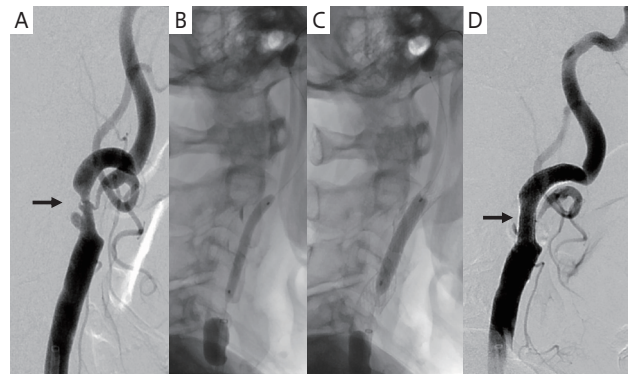


(図3)

頸動脈狭窄症の治療

抗血小板薬を中心とした内科的治療、外科的にプラークを摘出する頸動脈内膜剥離術(Carotid endarterectomy; CEA)があります(図3)。CEAは高度狭窄例において内服治療よりも脳梗塞予防効果が高いことが証明されています。全身状態や解剖学的な要因によってCEAのリスクの高い症例には頸動脈ステント留置術(Carotid artery stenting; CAS)を施行します(図4)。

(図4)



最近のトピック

これまで不安定プラーク(大きな脂質コアやプラーク内出血を有するプラーク)症例に対するCASでは周術期のステントストラットからのプラーク逸脱による遠位塞栓症が起りやすいとの報告がありました。最近になりこのプラーク逸脱を防ぐべく2層構造のマイクロメッシュステントが開発され、本邦でも使用が開始となりました(図5)。このような新規デバイスの開発による治療成績の向上が期待されます。



(図5)

おわりに

当院では頸部内頸動脈狭窄症の患者さんでCEA/CASの適応が考慮された場合、脳神経内科と脳神経外科の合議の上で最適な治療方針を決定することでより安全で確実な治療を提供できるシステムを確立しています。対象症例となる患者さんがいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

着任あいさつ



集中治療科医長
今村 博敏
Imamura Hirotohi

専門領域 | 脳血管障害・脳血管内治療、良性脳腫瘍

令和4年2月1日付けで着任いたしました今村博敏と申します。私は、現在まで京都大学と神戸市立医療センター中央市民病院で研鑽を積んで参りました。脳血管障害において、外科的手術を選択するのか血管内治療を選択するのか、これは治療の成功に関わる非常に重要な要素です。この治療選択をハイレベルで行うためには、自分自身がふたつの治療のエキスパートになることが最も近道であると感じてこれまでトレーニングを積んできました。脳動脈瘤、頸動脈狭窄症、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻と、多くの脳血管障害にはふたつの治療アプローチが必須です。また当科はガンマナイフのエキスパートも擁しています。最新・最善の脳神経外科医療を提供することをモットーに診療しておりますので、当院脳神経外科にいつでもご紹介ください。



外来医長
山田 清文
Yamada Kiyofumi

専門領域 | 脳血管障害・脳血管内治療・頸動脈狭窄症

2022年4月1日付けで着任いたしました。これまで岐阜大学病院・兵庫医科大学病院・京都大学病院にて脳血管障害の外科治療・血管内治療を中心として研鑽を積んで参りました。また、脳梗塞の重要な原因である頸動脈狭窄症に関しては画像を中心とした臨床研究をUniversity of Washington留学後も継続して行っております。今後は片岡部長の下、経験豊富なスタッフと共に脳血管障害の患者さんにとって最良の診断・治療を提供していきたいと考えております。連携医の先生方におかれましては脳血管障害疑いの患者さんがいらっしゃいましたら、是非一度ご紹介いただけますと幸いです。

外来担当表

(2022.4.1~)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
山田清文	片岡 大治	今村博敏	池堂 太一	濱野 栄佳
丹羽章浩	森 久恵(ガンマナイフ外来)	下永 皓司	森 久恵(ガンマナイフ外来)	榎 裕史
ガンマナイフ外来 (初診)	AVM外来 (片岡・森)	ガンマナイフ外来 (初診)		ガンマナイフ外来(初診) もやもや病外来(初診)

*専門医療連携室へ「診療予約依頼書」をFAXしてください。予約受診が可能となります。 FAX:06-6170-1348(平日 9:00~20:00)

**国立循環器病研究センター**
National Cerebral and Cardiovascular Center
脳神経外科
〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号
TEL:06-6170-1070(代)
<http://www.ncvc.go.jp>

